

地域福祉に関するアンケート・ヒアリング調査の実施概要（案）

1 目的

本市における地域福祉のさらなる推進に向け、市民の地域福祉に対する考え方や意見及び地域の実状を把握し、「第5期各務原市地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定の基礎資料として活用することを目的に実施するものです。

2 調査実施期間

令和5年10月中旬から下旬を予定（配布期間：2週間程度）

3 調査対象等

対象	①市民	②民生委員・児童委員	③関係団体
対象者数	18歳以上の市民 2,000 人	216 人	市内で地域福祉活動を行う団体等 37 団体 ※別紙参照
調査方法	郵送配布・郵送回収またはWEB回答	地区民児協議会において直接配布・回収	郵送配布・郵送回収 及び 実地訪問によるヒアリング （高齢者、障がい、子ども・子育て、生活困窮、ひきこもり等 6団体）
目的	市民の地域福祉に関する意識や意見、地域活動への参加状況などの実態を把握するために実施。	地域で活動していく上での問題や課題を把握するために実施。	活動者視点での地域福祉の課題や、その解決につながる具体的な活動や、社会福祉協議会や市に求められる支援方法等を把握するために実施。

4 アンケート調査設問構成

① 市民 36問

大項目	設問案	活用の方向性等
1 回答者の属性について	性別、年齢、職業、居住地域、居住年数、世帯構成	回答者の基礎的な情報把握と、クロス集計に活用。
2 福祉に対する考えや住いの地域の状況について	・近所づきあいの程度 ⇒近所づきあいをしていない理由 新 ・近所づきあいの満足度 指標 ・となり近所の人に求められたときにできること ／困ったときにしてほしいこと ・支援が必要な人がいると思われる家庭 新 ・居場所について 新 ⇒安心できる居場所 新 ・地域の課題 ・地域で必要な取り組み ・地域づくりの関心状況 新 ・福祉についての考え 指標	福祉への関心や助け合いに関する意識等を把握し、 <u>地域福祉への意識醸成の施策の検討</u> に活用。

大項目	設問案	活用の方向性等
3 日々の生活の中での困りごとや相談、福祉情報の入手などについて	・日々の生活の悩みや不安 ・悩みや不安の相談先 指標 ・相談機関の認知度 指標 新 ・相談しやすい窓口について 新 ・福祉サービスの情報の入手状況 指標 ・福祉に関する情報の入手先 ・地域福祉活動への関心状況 指標	日常生活で抱える悩みや不安の状況を把握するとともに、相談窓口の利用ニーズを把握。 <u>相談窓口の周知の方策や相談支援体制の在り方の検討</u> に活用。
4 地域活動やボランティアについて	・地域活動の参加状況 ⇒地域活動の課題 新 ⇒活動していない理由 ・地域活動の参加意向 ・ボランティア活動の参加状況 指標 ⇒活動していない理由 新 ・ボランティア活動の参加意向 新 ⇒興味のある分野 新 ・地域活動・ボランティア活動の参加条件	地域活動・ボランティア活動への参加状況・意向を把握し、 <u>地域活動の活性化に必要な施策の検討</u> に活用。
5 日ごろからの見守り、災害に対する対策などについて	・避難行動要支援者支援制度の認知度 新 ・互助・共助における、災害に対する備えの状況 新	地域の防災の状況や意識を把握し、 <u>地域における災害に備えた取り組みの検討</u> に活用。
6 認知症や障がいのある方の権利擁護などについて	・成年後見制度の認知度 ・成年後見制度相談窓口の認知度 新	成年後見制度に関する認知度を把握し、 <u>制度周知の方策の検討</u> に活用。
7 再犯防止について	・再犯防止推進法の認知度 新 ・再犯防止の推進に必要な取り組み 新	再犯防止に関する認知度を把握し、 <u>制度周知の方策や再犯防止推進計画の策定</u> に活用。
8 デジタルの活用について	・スマートフォン、パソコンの使用状況 新 ・講座やイベントのオンライン開催について 新	スマートフォン、パソコンの利用率を確認し、 <u>WEB等を活用した啓発等の可能性の検討</u> に活用。
9 市の地域福祉について	・市の地域福祉に関する取り組みの満足度と重要度 新	現行計画における施策の市民の評価を把握し、 <u>次期計画にて取り組む施策の検討</u> に活用。
自由回答		

② 民生委員・児童委員 28問

大項目	設問案	活用の方向性等
1 回答者の属性について	性別、年齢、居住地域、居住年数、任期	回答者の基礎的な情報把握と、クロス集計に活用。
2 民生委員・児童委員の活動を通して感じたことについて	・相談を受けるきっかけ 新 ・受けた相談の引き継ぎ先 新 ・対応が難しいと感じた事例 新 ・活動の中で感じた悩みや苦労 新 ・地域のつながりの強さ ・支え合い活動を進めるにあたっての課題 ・特に重要と感じた課題の事例 ・支援が必要と思う対象	地域の実状等を把握し、 <u>地域福祉推進の施策の検討</u> に活用。

大項目	設問案	活用の方向性等
	・支援が必要な対象者の支え合いの推進に必要なこと ・地域福祉の進展度 ⇒進展の理由 ・住民から寄せられる要望 ・具体的な要望事例 ・福祉の情報で提供を必要としているもの ・地域で行うべき支え合いの活動や取り組み	
3 要配慮者の情報について	・避難行動要支援者支援制度の認知度 新 ・災害時に支援が必要な人の情報の活用方法 新 ⇒活用の事例 新	地域の防災の状況や意識を把握し、 <u>地域における災害に備えた取り組みの検討</u> に活用。
4 再犯防止について	・再犯防止推進法の認知度 新 ・再犯防止の推進に必要な取り組み 新	再犯防止に関する認知度を把握し、 <u>制度周知の方策や再犯防止推進計画の策定</u> に活用。
5 地域活動における他団体等との連携について	・地域活動において連携がある組織・団体 ⇒連携で行っている取り組み ・今後地域活動において連携したい組織・団体 ⇒連携先と取り組みたいこと ・他の組織・団体との連携する上での困りごと ・社会福祉協議会との連携で必要なこと	地域活動においての団体間の連携状況を把握し、 <u>地域活動の活性化に必要な施策の検討</u> に活用。
6 市の地域福祉について	・市の地域福祉に関する取り組みの満足度と重要度 新	現行計画における施策の市民の評価を把握し、 <u>次期計画にて取り組む施策の検討</u> に活用。
自由回答		

③ 団体 7 問

大項目	設問案	活用の方向性等
1 回答者の属性について	区分、団体名、活動分野、活動エリア	回答者の基礎的な情報把握と、クロス集計に活用。
2 団体の活動状況について	・活動をする上での困りごとや問題点 ・地域活動において連携がある組織・団体 ⇒連携で行っている取り組み ・今後地域活動において連携したい組織・団体 新 ⇒連携先と取り組みたいこと 新 ・市や社会福祉協議会に実施してほしい支援 ・対応が難しいと感じた事例 新	団体の活動状況や困難事例等を把握し、 <u>地域福祉推進の施策の検討</u> に活用。
3 市の地域福祉について	・市の地域福祉に関する取り組みの満足度と重要度 新	現行計画における施策の市民の評価を把握し、 <u>次期計画にて取り組む施策の検討</u> に活用。
自由回答		